



「コロナ禍の中、佐藤新運営委員長に聞く！」

令和2年4月より運営委員長に就任された佐藤運営委員長に、浅草小地区コミュニティ委員会の魅力や地域とのつながり等を伺いました。

Q. 当委員会の設立・団体紹介をお願いします。

A. 当委員会は昭和59年8月9日に設立されました。設立時より掲げている「心と心のふれあい、うるおいのある町づくり」をモットーに、会長をはじめ9名の委員で運営しています。

Q. コロナ禍で、どのように運営・活動をしていますか？

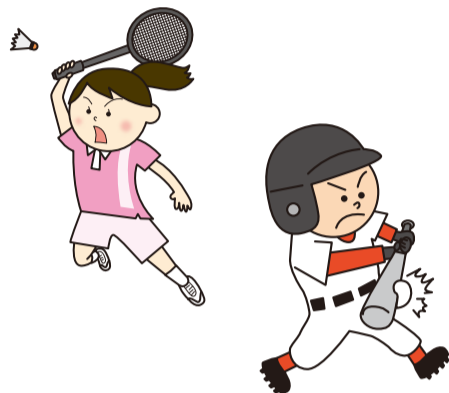
A. 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、密閉・密集・密接を避けること、また、活動場所である学校施設は子供達が就学する場でもあることを委員会のサークル団体が理解し、全サークル活動を自粛しています。

運営活動の状況につきましては、サークル活動を通じての人と人の絆や各サークル間の交流を図るコミュニティスポーツ大会、浅草小学校校長先生・PTA会長・副校長先生をお招きしてのコミュニティ懇親会も、例年行っておりますが、現状の中では開催が難しいのではと危惧しております。

まだまだ出口は見えてきませんが、一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束し、以前の様に充実した笑顔の絶えない委員会活動が再開できる日を心待ちに願っております。



コミュニティ懇親会 (平成31年2月) にて。皆さん素敵な笑顔です。



Q. コミュニティと地域のつながりを教えていただけますか？

A. 当委員会の特徴として、地域行事との深い関わりがあります。三社祭では今年の実施方法をかえての斎行となったため、残念ながら中止となってしまいました。お囃子のサークルが日頃の練習の成果を発揮します。また、各町青年部の企画運営による三町連合納涼盆踊り大会では子供達をはじめ、地域の方々に楽しんで頂けるように趣向を凝らしたゲーム・かき氷などの模擬店が設営されますが、当委員会は協賛及び金龍太鼓のお披露目や模擬店での活動に参加をしています。

Q. これからのコミュニティ活動についてお話しいただけますか？

A. 今、私たちは未知のウイルス感染症により、新しい生活様式が求められ、活動自粛を余儀なくされています。本来ならばこのような錯綜した環境だからこそ、体を鍛えたり、共有できる習い事、日本の伝統文化等を学びながら、より多くの人と人が共有できるふれあいの場、そしてお互いがより深く交流できる場所を作ることにより、地域のネットワークを構築していくことが大切なことだと思います。当委員会ではこれからもコミュニティ間の交流を深めるとともに、周辺地域の皆様との連携を図り、より充実した活動ができるよう心がけていきます。

佐藤運営委員長、お忙しい中、貴重なお話をいただきありがとうございます。新しい日常の中、全コミュニティ活動が再開し、皆様の笑顔に再開できる日を心待ちにしております。

八田 久美子



「コミュニティ祭り」

当委員会のコミュニティ祭りは、スポーツ大会と健康ウォーキング大会を隔年で実施しています。

根岸小地区コミュニティ委員会では根岸小学校内の体育館・会議室・校庭をお借りし、スポーツ活動や文化活動など、様々な活動に取り組んでおります。また、「コミュニティ委員会」として色々な行事の実施や参加をしています。

●三町会合同防災訓練

上根岸町会・中根岸町会・根岸二丁目町会の三町会が持ち回りで企画・運営している防災訓練に「コミュニティ防災協力会」として参加させていただきました。

健康ウォーキング大会では台東区内及び台東区周辺の史跡や施設を散策します。上野公園の歴史や秘密をクイズ形式で学んだり、徳川ゆかりの地を訪ねたり、ウォーキング中に見た風景で俳句を詠んだり、毎年様々なテーマに沿ったコース設定をし、幅広い年代の参加者の皆様と交流しながら散策を楽しんでおります。

運営委員長 藤原 浩二



防災訓練風景



ビーチボール大会



健康ウォーキング大会